

平成11年度 和歌山県文化奨励賞

かいなんぶん かきょうかい
海南文化協会

創 立：昭和20年

代 表：平尾 邨村

所 在 地：和歌山県海南市

◎業績及び経歴

昭和20年の終戦後の海南市に文化の灯火を点じて、市民の心の中に潤いを取り戻したいと志ある者が集い、戦時下に活動を停止した海南文化協会を再興する。

文協劇団による公演活動、美術展の開催、短歌雑誌「なびきも」の発行等により、娯楽の少ない時代に地域にやすらぎをもたらせた。

その後も、中国・長春市との交流写真展、海南市民会館の完成を記念する芸能祭、海南市の歴史を紹介する明治百年展の開催等、地域住民に対する啓蒙活動や伝承遺跡筆捨松や熊野古道の整備事業等の文化遺産の保存活動にも尽力し、地域文化の向上に対する熱意により、活発な活動を展開する。

特に、平成11年に第44回を迎えた海南市美術展は、昭和31年から毎年開催され市民に好評を博している。また、昭和39年より毎年発刊している年刊誌「海南文化」は、郷土紹介、句集・歌集、随想、紀行文と内容も多彩で、現在、34号を数え、地域に根付いた総合文化誌として高い評価を受けている。

県内の市町村文化協会の中で最も歴史の深い海南文化協会は、現在、会員が500名を越え、20もの所属部の活発な活動の展開、周辺地域の文化協会の交流を積極的に図る等、地域文化振興の中心的な役割を果たしている。